

あつたの災害

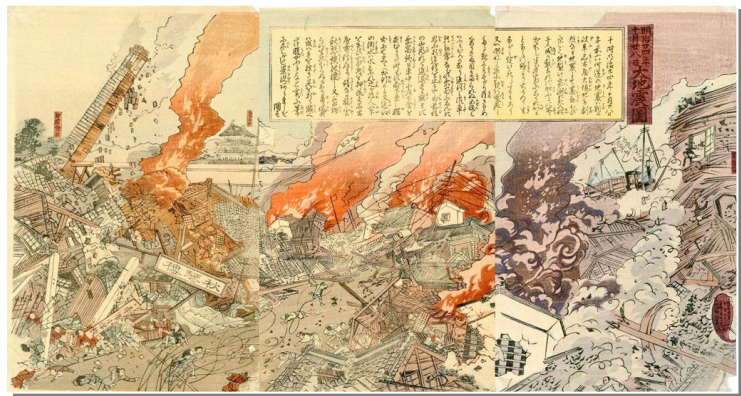
～濃尾地震から～

日本は古来より地震の多い国で、当地方でもたびたび地震がありました。特に明治24年（1891年）に発生した濃尾地震は、日本の内陸部で発生したものとしては最大級の規模（M＝8.4）で、東海・北陸地方を中心に甚大な被害を被りました。震災地全体で、死者7,469名、負傷者19,694名、住家全壊85,848戸にもなりました。熱田区（当時は愛知郡熱田町）でも被害は大きく、死者54名、負傷者135名、住家全壊430戸に及びました。

第3回の展示では、「あつたの災害 ～濃尾地震から～」と題し、濃尾地震を中心に上げ、震災直後の様子を表した絵図や写真、震災記録などの資料を福島コレクションから選んでご紹介いたします。ご覧いただき、改めて地震の恐ろしさや防災の重要性について考えていただければと思います。



▲ 大地震之實況、明治24年11月出版



▲ 明治24年10月28日大地震図、明治時代、木版多色刷

展示開始：平成23年8月1日（月）

開設時間：区役所開庁時間

無料 ご自由にご鑑賞ください

テーマ：あつたの災害～濃尾地震から～

場所：熱田区歴史資料展示コーナー

（区役所1階相談コーナー内）

問合せ：熱田区役所まちづくり推進室

Tel 683-9425

（福島コレクションについて）

熱田区に関する郷土資料の収集家として知られる、故福島重夫氏が30年の歳月を費やして収集された約1200点もの熱田を中心とした貴重な歴史的資料（錦絵、地図等）です。昭和59年6月の熱田生涯学習センターの開館にあたり、名古屋市（熱田生涯学習センター）に寄贈されたものです。

（熱田区歴史資料展示コーナーについて）

熱田区歴史資料展示コーナーは、熱田区歴史資料ボランティア（代表 周防有彦さん始め12名）の皆さんの活動により運営されています。